



編集部おすすめの1冊【2017年9月ビジネス書ランキング】



売れているのには理由がある。数多あるビジネス書の中から、どの本をいま読むべきか決めるのはなかなか難しい作業。ならば、世間で売れている本に注目してみようというわけで、ハイブリッド型総合書店「honto（ホント）」の協力のもと、ビジネス書の月間ランキングを毎月お届けする。

<2017年9月ビジネス書ランキング>

ランキングタイトル／著者／出版社第1位会社四季報 業界地図 2018年版東洋経済新報社
編／東洋経済新報社第2位多動力 全産業の“タテの壁”が溶けたこの時代の必須スキル（NewsPicksBook）
堀江貴文／幻冬舎第3位日航123便墜落の新事実
目撃証言から真相に迫る青山透子／河出書房新社第4位小さな習慣スティーヴン・ガイズ／ダイヤモンド社
第5位論理的思考力を鍛える33の思考実験北村良子／彩図社第6位伝え方が9割
1佐々木圭一／ダイヤモンド社第7位宝くじで1億円当たった人の末路
鈴木信行／日経BP社第8位図解モチベーション大百科池田貴将／サンクチュアリ出版第9位会話
もメールも英語は3語で伝わります Simple English for
Everyone中山裕木子／ダイヤモンド社第10位これで金持ちになれなければ、一生貧乏でいるしかない。お金と時間を手に入れる6つの思考金川頭教／ポプラ社
honto調べ（集計期間：2017年9月1日～2017年9月30日）

9月のランキングトップに躍り出たのは、8月末に発売された「会社四季報 業界地図」の2018年版。就活でもお世話になった人が多いであろう「会社四季報」の記者たちが176業界・3960社取材し、業界地図をまとめた1冊だ。就活生の業界研究にはもちろん、各業界の現状や動向、経済界のトレンドなどを知れるので、ビジネスパーソンにも役立つ1冊だ。業界内の勢力図は数年で変わることもしばしば。毎年購入するというビジネスパーソンも多い。巻頭には20の注目業界がズラリと並び、AI、VR、ドローン、IoT・ビッグデータ、フィンテックといった最新技術系のものが目立つ。書籍だが、来春には各業界で起きた重要な再編や社名変更などのアップデート情報をWeb特典として提供してくれるのも心強い。各業界で記者の「オススメ情報源」として書籍やWebサイトなどが紹介されているので、これらのソースも併せて活用してみると、より理解が深まるだろう。

第3位にランクインした「日航123便墜落の新事実

目撃証言から真相に迫る」は、今年8月に迎えた三十三回忌を目前に刊行された。日航機123便墜落は日本の航空史上最大の被害となったが、いまだにその事故原因は明らかになっていない。今なお疑問を抱く著者が目撃者らの証言をもとに、これが「事故」だったのか「事件」だったのかに迫る。

第4位「小さな習慣」、第8位「図解モチベーション大百科」は何かを始めたい人におすすめだ。「小さな習慣」では、いきなり大きな目標を立てて三日坊主で挫折するのではなく、クリアしやすい小さな目標からスタートすることの大切さを教えてくれる。成し遂げたい目標への第一歩を踏み出す力を与えてくれる本だ。首尾よくははじめの一步が踏み出せたら、「図解モチベーション大百科」でモチベーションの維持向上を。本著では、コロンビア大、プリンストン大、ペンシルバニア大などで行われた心理・行動実験を解説。さまざまな事例を通して、自分だけでなく、周囲の人のモチベーションコントロールにも使えるような法則を見つけることができそうだ。

まとめ：M&A Online編集部

【関連リンク】その他の「編集部おすすめの1冊」はこちら